

製品の高付加価値化には  
高度な実践技術を有する人材が必要です。

能力開発セミナー を活用して  
「ものづくりのプロ」を育成しませんか。

## 機械加工・機械設計分野 2023年1～3月開催 6コース

### 企業(社員)のニーズ

生産性向上に向けた品質  
改善の手法を学びたい

生産現場における効果的  
な人材育成の手法を学び  
たい

生産技術に関する新たな  
専門的な知識及び技能・  
技術を学びたい

### 能力開発セミナーの種類

・成功事例から学ぶ品質の維持と  
向上(N15)

・技術継承と生産性向上のための  
OJT指導者育成(人材育成計画と  
技能伝承の進め方)(N25) **NEW**

・実践機械製図(N03-2) **NEW**  
・高速加工活用技術(N23) **NEW**  
・精密測定技術(N24) **NEW**  
・生産現場の機械保全技術(N12-2)

公的助成金、補助金の利用が可能な場合があります。詳細は所轄の機関にご相談ください。

- 「人材開発支援助成金(特定訓練コース)」厚生労働省・都道府県労働局
- 「千葉市中小企業人材育成研修費補助金」千葉市役所 雇用推進課

【厚生労働省所管】千葉職業能力開発短期大学校 成田キャンパス  
〒286-0045 千葉県成田市並木町221-20  
TEL:0476-22-4351 FAX:0476-22-4347  
URL: <https://www3.jeed.go.jp/chiba/college/index.html>



指導技法

NEW

技能継承と生産性向上のためのOJT指導者育成  
(人材育成計画と技能伝承の進め方)

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N25	2023年1月10日(火)、11日(水)	成田キャンパス	10名	11,500円(税込)
日数	2日間(14時間)			
時間	9:15~17:00(7時間/日)			
使用機器	パソコン、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙、クドバスカード、マーカー			
持参品他	筆記用具			

申込締切  
12月27日

講習内容

本コースでは、生産現場における現場力強化及び技能伝承をめざして、社員に必要な職業能力を、クドバス法を用いたチャート作成により見える化し、育成対象となる社員の保有能力を把握することによって、効果的に人材育成を進める手法を学びます。また、OJTなどの人材育成の現場において、技術・技能を継承する際に必要な、指導法に関する知識と、それらに有効なツールである標準作業手順書の作成法を、実習により習得します。

主な内容

- 人材育成計画作成法
  - ・必要な職業能力の見える化(クドバスチャート作成実習)
  - ・能力マップを用いた社員に不足する技術と技能の抽出、継承の優先順位などの分析
- 技術・技能の指導法と標準作業手順書
  - ・技術知識の指導と、技能指導の違い
  - ・技能継承における標準作業手順書の役割
  - ・動画撮影とインタビューに基づく、作業の急所抽出と標準作業手順書の作成実習

能力マップによる社員の保有能力分析例  
(5:よくできる ⇄ 1:まだできない)

能力項目リスト	ベテラン 来年度年	中堅 11年勤務	新人 入社1年	平均
平やすりで曲面切削が出来る	5	3	1	3
狭い部分の平面切削が出来る	5	3	1	3
基準面に直角な平面切削が出来る	5	4	1	3.3
角部の面取り切削が出来る	5	4	2	3.7
平面切削が出来る	5	3	1	3
ヤスリの種類と用途を知っている	5	4	1	3.3
赤当たりについて知っている	5	4	1	3.7
ヤスリの手入れが出来る	5	4	1	2.7
工具の手入れが大切だと知っている	5	4	1	3
金数を使うことが出来る	5	2	1	2.7

早く継承しないと来年以降、技術が失われる！

品質管理

成功事例から学ぶ品質の維持と向上

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N15	2023年1月24日(火)、25日(水)	成田キャンパス	15名	11,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、工作機械			
持参品他	筆記用具、ノート			

申込締切  
1月10日

講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得する。

主な内容

- 品質概論
  - ・買手の要求に合った品質とは
  - ・品質管理と品質改善
  - ・設計品質・製造品質
  - ・品質検査の方法と特徴
- 品質管理の取り組み
  - ・定量的な分析と定性的な分析(QC7つ道具、新QC7つ道具)
  - ・製造段階、開発設計段階、商品企画段階での質向上
- 固有技術を踏まえた側からの品質管理のあり方
- 品質管理演習
  - ・モノづくりゲーム
  - ・不具合要因の洗い出し(QC7つ道具、新QC7つ道具)
  - ・品質向上策の検討
  - ・モノづくりのやりなおし
- 事例と演習から学ぶ品質向上
  - ・経営面の効果・現場の効果
  - ・顧客の効果
  - ・ケース事例と問題抽出・改善検討
- まとめ

NC機械加工

NEW

高速加工活用技術

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N23	2023/2/27(月)、28(火)、3/2(木)	成田キャンパス	12名	13,500円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	立形マシニングセンタ(機種:Mazak FJV-200 II、制御装置:MAZATROL matrix2 G言語プログラム使用)、SolidWORKS(CADソフト)、SolidCAM(CAMソフト)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

申込締切  
2月13日

講習内容

NC機械加工の生産性向上を目指し、効率化、最適化(改善)に向けた加工実習を通して、高精度・高能率技能・技術を習得します。

主な内容

- コース概要
- 高速加工の概要と技術要素
- 高速加工における加工のポイント
- 加工実験評価
- まとめ



機械設計/機械製図

NEW

実践機械製図

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N03-2	2023年3月7日(火)、8日(水)、9日(木)	成田キャンパス	15名	7,500円(税込)

日数	3日間(18時間)
時間	9:30~16:20(6時間/日)
使用機器	
持参品他	筆記用具

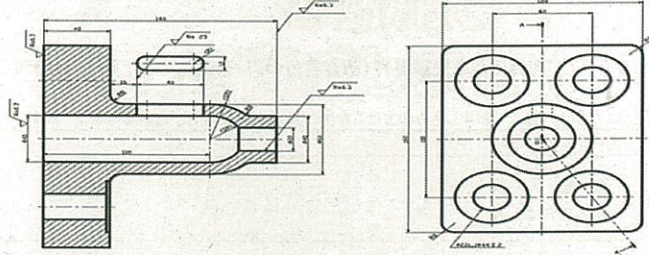
申込締切  
2月21日

講習内容

設計及び製造現場で求められる機械製図の部品図に関する、総合的かつ実践的な知識を習得します。

主な内容

- 製図一般
  - 製図規格の確認
  - 投影法の確認
- 機械製図上の留意点
  - 寸法記入法
  - 寸法公差とはめあい
  - 表面性状
  - 幾何公差
- 実践的機械図面の描き方
  - 事例から学ぶ機械製図



機械保全

生産現場の機械保全技術

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N12-2	2023年3月7日(火)、8日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)

日数	2日間(12時間)
時間	9:30~16:20(6時間/日)
使用機器	作業工具、各種伝動要素見本、油空圧装置
持参品他	筆記用具、作業服(上)、作業帽

申込締切  
2月21日

講習内容

生産機械に用いられる、伝動装置、油空圧機器に関して、未然にトラブルを防ぐための日常点検に不可欠な、機械の正常な状態の把握、早期に異常を発見するための定量的な評価方法を習得します。

主な内容

- 締結要素(ボルト・ナット)に関する保全
- 伝達系機械要素(転がり軸受、歯車等、Vベルト、チェーン)の保全
- 油空圧機器の保全
- 密封装置について



計測・測定

NEW

精密測定技術

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N24	2023年3月13日(月)、14日(火)	成田キャンパス	6名	11,500円(税込)

日数	2日間(12時間)
時間	9:30~16:20(6時間/日)
使用機器	測定器(ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ)、被測定物
持参品他	筆記用具、作業服(上)

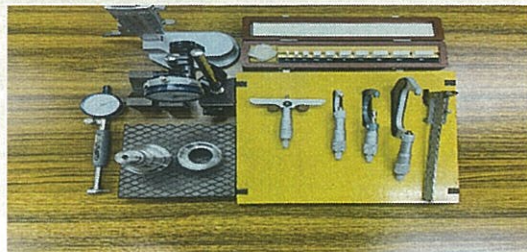
申込締切  
2月28日

講習内容

機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化を目指して、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的測定技能・技術を習得します。

主な内容

- 測定・検査の概論
- 各種測定器の原理と測定方法
- 測定誤差について
- 間接測定



(機械)  
(コピーしてご使用ください。)

令和 年 月 日

## 能力開発セミナー受講申込書

※下記の施設へFAXにてお申し込みください。

成田キャンパス

FAX: 0476-22-4347 (TEL: 0476-22-4351)

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	ふりがな		業種	
	事業所名 (個人の方は氏名)			
	所在地 (個人の方は住所)	〒 (TEL: - - ) (FAX: - - )		
	申込担当者名	部署課名:	氏名:	
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、 B. 30~99人、 C. 100~299人、 D. 300~499人、 E. 500~999人、 F. 1,000人以上		
	受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※1) 2. 個人での自己受講		

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。  
なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	ふりがな	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※2) (該当に○印)	短大 記入欄
			受講者名			
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※3)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

①ホームページ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他( )

(連絡事項)

- コース開催の3週間前の時点で、受講申込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。  
ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。
- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※3 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)  
(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
- 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。  
希望する 希望しない